

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870400425
法人名	有限会社 ファミリエ
事業所名	グループホーム 橙園
所在地	八幡浜市保内町宮内5 8 3 - 1
自己評価作成日	平成22年1月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年2月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

開設以来、「心身の障害があっても、私らしく、あなたらしく、豊かに、人としての尊厳を守る。」という介護理念を基に、御家族との協働によって利用者が地域の住民として生き続けられる支援でありたいと願い日々努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

年6回の運営推進会議の内、4月には地区の「公会堂」で公開会議をされており、委員以外に地域の方、ボランティア、婦人会等、100人ほどの参加がある。職員が各担当部門の活動の報告をされ、ホームのことを多くの方に知っていただく機会となっている。運営推進会議用に作った「橙園たより」は、委員の意見でご家族にも送られようになった。

事業所では「利用者は自由に動かれるのが当たり前なので、職員がそれに沿って対応する」という姿勢で取り組んでおられる。家に帰ろうと出かけられた利用者には、暑い時期なら麦藁帽子と水筒を持って、ご本人が納得されるまで職員と一緒に歩かれている。もしもの時のために「行方不明高齢者が発生しました」というファイルを利用者個々に作成し、写真・特徴を示して、警察に情報を提供できるようにされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

グループホーム橙園

(ユニット名)

サルビア

記入者(管理者)

氏名

有馬房子

評価完了日

平成22年 1月20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ケア・業務カンファレンスの時には、理念「人としての尊厳を守る介護」の実施に向けてのプランを話し合い、一人一人の個性を大切に守る介護を実行している。又、地域の人々や利用者、家族と共に年中行事を行うことに重きを置いている。 (外部評価) 「心身に障害があっても 私らしくあなたらしく 心豊かに人としての尊厳を守る」という理念を玄関や事務所に掲示されている。管理者は「利用者への対応はすべて理念に基づいていなければいけない」と様々な場面で職員に伝え「ご家族や地域の人たちとの関わりを大切にしていかなければ、その人らしい尊厳を守る支援はできない」と考え、取り組んでおられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の公民館主催の夏祭り・ふれあい市・文化祭など参加したり、日赤奉仕団の三世代手つなぎボランティアに参加。清掃や草引きなど参加している。地区組入りし、回覧の情報により活動を行っている。 (外部評価) 地区の行事には出来る限り参加されている。地域の夏祭りには利用者用の席を用意して下さったり、公民館での文化祭には、利用者と職員で作った「かまぼこ板の作品」を出展された。日赤奉仕団の方達に外出の手伝いをしていただき、亀ヶ池温泉等に出かけられた。他にも、三味線・読み聞かせ・詩吟・大正琴等のボランティアの方の訪問もある。近くにある三島神社の清掃作業には、利用者と職員で行かれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 二ヶ月に一度開催する運営推進会議にて行い、また、年度初めに(第一回)は公民館で行う推進会議(公開)で各部署、実践担当者が発表している。地域からの認知症介護に対する相談が多くなってきている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 橙園だよりを発行し、利用者の状態、活動を報告。構 成員の方々から意見を頂いたり、アドバイスを頂くこ とを介護に取り入れ、サービスの向上に活かしてい る。	
			(外部評価) 年6回の運営推進会議の内、4月には地区の「公会堂」 で公開会議をされており、委員以外に地域の方、ボラ ンティア、婦人会等、100人ほどの参加がある。職員が 各担当部門の活動の報告をされ、ホームのことを多く の方に知っていただく機会となっている。運営推進会 議用に作った「橙園だより」は、委員の意見でご家族 にも送られようになった。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 地域包括支援センターやグループホーム協議会など が行う研修に参加して、実践を報告する中で協力関係 を築くような取り組みを行っている。	
			(外部評価) 市の実地指導の際「誰が見ても分かる記録」について 指導があり、地域包括支援センターに相談し、アドバ イスをいただき取り組んでおられる。管理者は「記録 を替えたことで職員の観察力・記録力が目に見えて向 上し、ケアの向上に繋がった」と話しておられた。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 管理者より常に何所もオープンにと言われており、全 職員に周知徹底している。 マニュアル等も作成し身体拘束しないケアに取り組ん でいる。	
			(外部評価) 事業所では「利用者は自由に動かれるのが当たり前 なので、職員がそれに沿って対応する」という姿勢で取 り組んでおられる。家に帰ろうと出かけられた利用者 には、暑い時期なら麦藁帽子と水筒を持って、ご本人 が納得されるまで職員と一緒に歩かれている。もしも の時のために「行方不明高齢者が発生しました」とい うファイルを利用者個々に作成し、写真・特徴を示し て、警察に情報を提供できるようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者より常に言われており色々な虐待の方法があるので、折に触れ研修の場を持ち、周知徹底して防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) このような関連の研修があるときには、参加し理解を深めるよう努力している。施設内でも、業務カンファレンスやケアカンファレンスの際に勉強会を持ち、職員全員が理解できることを目指している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入退居の時、利用者さん・御家族に時間をかけて、管理者及び介護支援専門員、担当者より説明させて頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議、ご家族面会時などで話を多く聞いている。面会時の様子などは大切に、運営委員会などに取り入れれ討議している (外部評価) 毎月手書きでの近況報告と写真、2ヶ月に1回は「橙園たより」をご家族に送られている。ホームで伊予柑が沢山採れた際には、遠くのご家族に利用者の手紙を添えてお送りし、お礼のお手紙をいただいた。ご家族からは、普段から気付いたことを「あっさり」と話していただいております、職員の態度等についてもご意見をいただくこともある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			賞与前に各自がアンケートに基づき、自己評価したり、意見・要望を出している。それにより運営に反映していけるよう努力している。	
			(外部評価)	
			事業所で行う大きな行事の後や、検討が必要なことについては職員にアンケートを取り、全員で話し合うようにされている。年2回、職員個々に自己評価を行うようにされており、職員の考えを集めて「業務カンファレンス」で検討されている。研修は、計画的に組まれたものと、職員が受けたい研修を申し出るようになっており、内・外部研修等の機会も多く作られて学ばれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			自己相互評価をしており、個々の勤務状態を把握し、賞与面でプラスにしたり、希望休を取り入れたりすることで働く意欲につながるようにと考えている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			全国グループホーム協会・県実施の実践者研修・管理者研修は毎年度。市の保健センターで行われている研修は毎回多数名出席。個人が希望するもの、随時グループホーム協会から案内のあるものに参加している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			他事行所の運営推進会議に出席。自施設へ招待、あるいは瀬戸あいじゅ他、5施設の福祉・介護・就職セミナーなど持った。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用前の事前面接をしっかりと行い、本人・御家族に安心して頂けるよう話し合ったり要望を聞き、ケアする中で計画に取り入れられたり、安心を確保するための関係作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>当施設の介護方針を納得していただき、ご家族のご要望に応えている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>グループホームへ希望され、早速入居できない時に歯、併設のデイサービス利用の説明。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々に応じた特技が生かせるようなプランを立て、自信を持つて生活の拡がりにつなげるよう働きかける。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>行事などにお誘いし、楽しいひと時を過ごして頂いたり、面会時などに園での状況・変化などお話しする中で家族との絆を大切にしていけるよう努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>知人・友人などの面会、再々来ていただいたり、夏祭りや、その他の行事などにも声かけさせて頂くなど、支援に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者は地元からの入居が多く、友人・知人の来訪が頻繁にある。みかん山が気になる利用者には、ご家族や職員と一緒にみかん山に出かけて収穫をされたり、ご家族や友人によくお電話されていた利用者が、耳が聞こえにくくなったため、関係を続けられるようお手紙でやり取りできるように支援されていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) レクリエーション・共同作業などに誘導し、出来ることへの参加で他の人と交わるよう働きかけている。また、出来ない人、交われない人への非難的言葉が出ないように、介護者は仲介し仲間はずれにならない支援に努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 御本人の強い希望で退居し自宅へ。次の日から併設のデイサービスを利用(毎日)。他ホームヘルプサービスも利用しつつ、出来る限り、自宅で生活し、無理となった時点で再入所を保護者と約束した。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 一人ひとりの状況を把握し、本人の思いを大切にプランをたてて、安心して生活できるよう努力している。(ご家族の意向は、面会時ごとに少し時間を頂いて話し合っている。計画作成担当、居宅担当) (外部評価)	
			管理者は「日々の観察の中でいろいろなことが分かってくる」と考えておられ、アセスメントや活動経過記録の様式を改善して「分かりやすい記録」を整理されたところである。	事業所では「一人ひとりの違う思い」の把握に力を入れておられる。職員の日々の利用者へのかかわりから、ご本人の思いや意向の把握に努め、新たにされたアセスメント表に情報を集め、さらなる利用者主体の支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前面談で情報をフェースシートに入れ、個々の生活歴を把握し、日々の生活の中で、昔の話をしたり、今まで使っていたものを部屋に置いたり、利用すること。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 個別プランを生かし自分ができることで自信を持ち、楽しい生活ができるよう努めている。日々の介護記録を見直し充実させている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サービス担当者会議、ケアカンファレンスを随時行い、モニタリングしたものを、それぞれ意見を出し合い、介護計画を作成。</p> <p>(外部評価)</p> <p>9名の利用者の様子を24時間で生活状況を色分けして記録し、日々の介護記録「活動経過記録」に転記されている。「活動経過記録」には、「短期介護目標」が番号を打って記載されており、実施されたか分かりやすくされている。ご家族の来訪時にご要望やご意見をうかがうようにされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日の活動記録、個別の介護記録をしていく中で気付いたこと、変化を記入していくと共に、スタッフ間で話し合い対応している。家族に報告することで、協働して頂いている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者さんが、デイサービスの体操に参加したり、デイサービスの利用者さんがグループホームの行事に参加されたり、その時々に対応をしていくことが必要と、取り組んでいる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地区防災訓練など、地域行事に参加したり、ボランティアさんが来られ、集いに参加し楽しんでもらえるよう内容など話し合い、協力してもらっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) 利用者さんの入所前のかかりつけ医が、入所後もその まま、かかりつけ医となっている。受診の際は看護 師、介護職員、家族などが同行している。(家族の意向 を取り入れて)医療連携担当者中心に医療機関との関係 を密にしている。</p> <p>(外部評価) 利用者やご家族と話し合い、かかりつけ医を決め、職 員やご家族が通院介助をされている。受診の後は、結 果を知らせ合うようにされている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 看護師も介護職であるが、日々の申し送りは、看護職 員がリーダーになっている。 状態の変化のあるような事態があれば看護師に報告し 主治医に指示を得協働している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) ご利用さんが入院された場合は、定期的に見舞い、 その際、医療連携室、病院関係者と情報交換をしま り行き、いつも状況を把握するよう努めている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居時に、「重度化及び看取りに関する方針」(備え付け) を説明し、ターミナルケアを希望か否か話し合う。医療連携 体制同意書(この分は全員)に同意してもらう。現実にその 状態になった場合、家族・担当医・看護師・事業所の看護 師・介護士・栄養士などで、必要(段階)に応じてカンファ レンスを開催している。</p> <p>(外部評価) 事業所では「重度化及び看取りに関する指針」を示 し、事業所での看取りを希望される場合は、主治医や ご家族と協力して最期まで支援していくと決めておら れる。毎日、仕事帰りに立ち寄って下さるご家族等、 家族とも協力し合いながら終末期の支援に取り組み れる等されており、ご家族から「こういう最期を迎えら れて感謝しています」と感想をいただいた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			緊急時対応マニュアルを作成。職員に周知すると共に、消防署との連携の中で訓練を行い、実践に活かせるよう努めている。夜間帯は宿直員を一名動員している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			地域の消防署・消防団員との連携が密になるよう、日頃から協力体制を築いている。 地区訓練にも、利用者さんと共に参加している。	
			(外部評価)	
			年に2回の避難訓練では、出火場所を変えたり、地震や夜間時等を想定し、又、利用者の誘導の順番や手順を検討して訓練を行っておられる。誘導する人の声が皆に聞こえるよう「メガホン」を常備されている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			声かけする時の言葉使いや、排泄時声かけ、関わり方に気をつけている。	
			(外部評価)	
			テレビの取材や写真の公開等は、ご家族やご本人の了解を得るようにされている。食事時の声かけは丁寧に行われており、又、職員が居室に入る際にはご本人に聞いておられた。排泄の誘導や失敗した時には、「恥ずかしい思いをさせないような声かけ」にも心がけておられる。管理者は「声かけ一つで利用者が落ち着いたり不安定になったりする」ということについて、その場その場で職員に伝えるようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			本人の思いは常に把握し、自宅へ衣類をとりに帰りたいなどの希望があれば同行したり、ご家族へ電話したい時など対応など行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その人らしいリズムのある自由な生活。家族とのつながりを支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 身だしなみも介護の一つとして心掛けている。ご本人は選ぶことが出来なければ、季節ごとに清潔感のあ類類を選び着用して貰います。鏡の前で楽しんで整髪介助している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 台拭き、ランチョンマットを配っていただいたり、手作り餃子を皆で作ったり、食材切り・盛り付け、食後の片付け・食器洗い(拭き)を手伝っていただいている。おしぼりの数や名前が確認できた時など共に喜んで頂いている。 (外部評価) 調査訪問時には、利用者と職員と一緒に、節分の巻き寿司を巻いておられた。利用者も三角巾とエプロンを付け「人参は茹で過ぎたらいけんよ」とアドバイスされていた。小芋の皮むきをされたり、ランチョンマットを配ったり、テーブルを拭いたり、下膳をしたりと職員と利用者が一緒に作業をされている様子がうかがえた。調査訪問時、誕生日の利用者がおられ、手作りのケーキでお祝いをされていた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 糖尿病のある利用者さんには、味をうすめ、量(主食を量る)も減らし、野菜は多くとっていただいている。水分には常に気を配り、不足しないよう心掛けている。1回/月、栄養会議がある。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後、口腔清潔(入れ歯・舌洗浄)をして頂くよう声かけを行っている。 自歯・義歯のない方は必ず、うがいをしてもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 利用者一人ひとりの排泄時間を把握し、声かけにて誘導、また、自分で行ける方は見守り、失敗をなくす様心掛けている。 (パターン把握の仕方は毎日の活動表にて、一目で分かるようにしている。)</p> <p>(外部評価) 排尿・排便等、利用者個々に排泄の時間が分かるように記録されており、誘導の目安にされている。先々に誘導するのではなく、一人ひとりのサインを見逃さずに、誘導等ができるように努めておられる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 日々排便の確認をしている。水分補給量や食事の量も細かくチェックし便秘薬はDrの指示に従って服用している</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 声かけ、工夫しながら(気をつけながら)、出来る限り機嫌よく入っていただけるよう努めている。着替えの準備を一緒にして、必要な物が揃ったら満足感につながっている。</p> <p>(外部評価) 一連の入浴動作のうちにも、ご本人のできないことを見極め、職員が手を出し過ぎることのないように心がけ支援されている。利用者が入浴を嫌がるような場合には、無理強いせず「明日にしますか」とカレンダーに丸を付けたり、「今日は別府温泉の湯ですよ」と入浴剤等もきっかけにして、お誘いすることもある。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 特に夜間帯は、それぞれの睡眠パターンあり、職員は一人一人に合わせた対応をしている。 週に一度、シーツ交換を行い、寝具の清潔を保っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 配薬は看護師が行い、服薬は職員2名(出勤者)で確認し行っている。 服用時には利用者に合った飲み方を支援し、症状の変化があったときには、すぐに看護師に報告するようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 配膳の用意、盛り付け、食器拭き、掃除機かけ、食材切り、洗濯物たたみなど、無理のない程度にお願いしている。デイにも体操に行ったり、園内を散歩(日光浴など)、昼寝をしたり、ボランティアの訪問(読み聞かせ、三味線、大正琴)を楽しみにされている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ほぼ定期的に美容院へパーマ・カットに出かけたり、御家族とドライブに行かれる。 日常生活で足りない物があれば、自宅まで同行(保護者の許可の下)している。 親権者の方に連れられて、この方の家や自宅へ帰る。(少しの時間)	
			(外部評価) 庭で体操をしたり、菜園の手入れをされている。職員が同行して銀行に出金に出向かれたり、定期的に理美容院に行かれたり、自宅に荷物を取りに行かれたりと個別の外出も支援されている。毎年「ゆめみかん」の「芸能祭」にみんなで出かけておられ、今年は職員が出演されるので楽しみにされていた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 御家族・本人納得のもと、小額ではあるが、財布の中に持ち、地域の公民館などにバザーがあれば出掛け、本人の気に入った物を買う。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族の方から電話がかかって来た場合、取次ぎの支援をし、こちらからかける際は、家族に事情を話したりと、家族と本人のコミュニケーションがうまくいくよう援助している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>室内は換気をこまめに行い、リビングのソファはどこでも好きなところで座ったり、畳の間は自由に使えるようにしている。四季に応じた手作りカレンダーを貼ったり、畑の花を摘んで形の異なった花瓶に活けたりする。</p> <p>(外部評価)</p> <p>畳のスペースは、座卓でくつろげるようになっており、利用者が生けたお花が飾ってあった。ホールの壁には、避難経路や利用者の習字作品や文化祭に出展したかまぼこ板の作品が飾っておられた。トイレの前には椅子が置かれ、座って待っておられる方が見られた。菜園には野菜が植えられており、伊予柑の木等もある。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>テレビ鑑賞の好きな方はテレビの近くの椅子へ、気の合った者同士で話したりする時はソファで、それぞれ居心地のいい所で過ごすことは出来ている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ベット周りには自分の使い勝手が良い様に、それぞれが気に入って物を配置している。 イス・テーブル・タンス・洋服掛け・大正琴・お位牌ほか、飾り物。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご自分で立ち上がることが可能な間は、出来るだけ畳に布団の生活をと畳の部屋を作られていたが、徐々にベッドを使用される方が増えてきている。位牌・椅子・テーブル・タンス・洋服掛け等が持ち込まれ、賞状や写真を飾っている方もおられた。ルーベを使って新聞を読んおられる利用者もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>洗面所の手洗い場はセンサーで水が出、備え付けペーパーは自分で取って手を拭く。 台所は流し台が高い方と低い方の二つがあり、身長に合った方が使える。</p>	